

単位認定試験準備の 進捗管理と確認プロセス効率化

所管・所属
発表者
共同研究者

教育研究部
吉田貴子
TQM委員会

洛和会京都厚生学校

【背景】

単位認定試験準備に用いるチェックシート

- ・オンラインでの単位認定試験に対応しきれていない
- ・対面試験時であっても適切に用いられていない



進捗状況が正確に把握できず
確認に時間がかかる

【問題と目標】

- ①進捗状況を把握できない
→ 正確な進捗状況を把握
- ②確認漏れが発生
→ 確認の漏れを防ぐ
- ③押印のためだけの押印
→ 試験管理の効率化

【改善策】

～単位認定試験進捗管理

チェックシート of 項目見直し～

- 1) チェック項目の見直し
- 2) 新たな単位認定試験準備進捗管理チェックシートを作成
- 3) 新たな単位認定試験準備進捗管理チェックシートを用いて実施し評価

旧チェックシート



A3用紙に
ギッシリ

全教科書かかれてい
るわけではない
↓
見通しが立たない

旧チェックシート（1科目分）



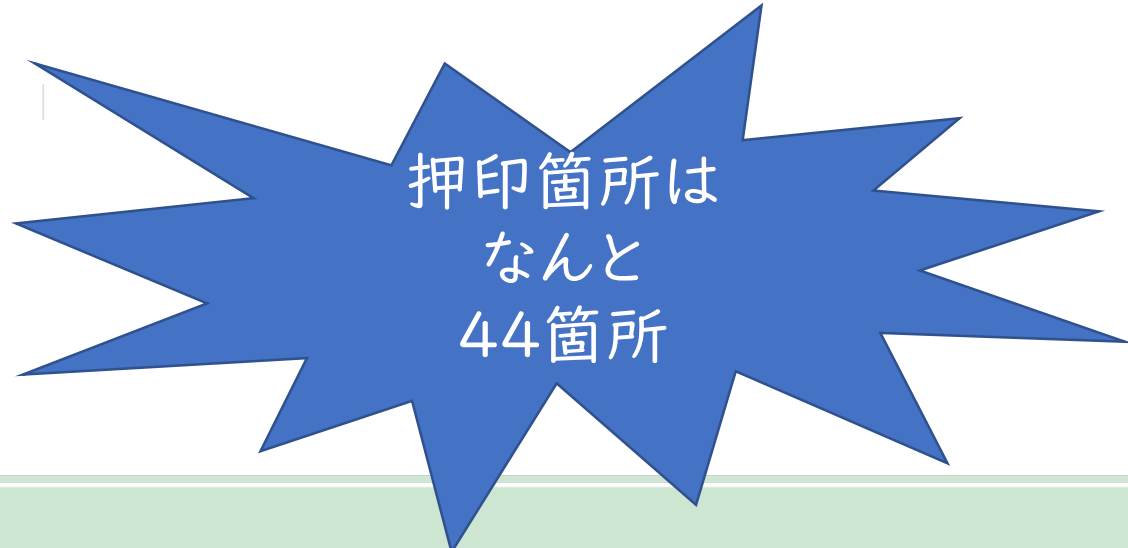
見にくい

終講日	科目名	
月 日		
限目		
2 試験日	単元	講師名
月 日		
限目		
(すべての予定を記入する)		
学科長印		

項目	3-1) 作成依頼	3-2) 試験問題受け取り
予定	月 日	月 日
実施	月 日	月 日
	印	印
項目	3-3) 4-1) 保管袋作成	
予定	月 日	
担当	印	
実施	印	
	○終講後の受験資格無者の確認 ○表書き記入 ○成績表作成 ○座席表作成	
	月 日	
	印	印

項目	3-5) 試験問題確認	3-6) 修正依頼	3-5) 修正後の再確認	5 印刷	2 試験終了	7 担当講師へ採点依頼	8 採点済み解答用紙受領	8-1) 答案と成績表読み合わせ	8-3) 入力依頼	8-5) 成績表読み合わせ
予定	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日
担当	印	印	印	印	印	印	印	印	印	印
実施	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日
	印	印	印	印	印	印	印	印	印	印
	学科長印									
	印									

項目	8-6) 学科長(副校長)へ報告		
予定	月 日		
実施	月 日		
	印		
項目	8-7) 返却準備	返却日	再試験日決定 再試験提示
予定	月 日	月 日	月 日
担当			印
実施	月 日	月 日	月 日
	印	印	印



押印箇所は
なんと
44箇所

旧チェックシートの押印欄

予定	月	日
担当	印	印
実施	月	日
	印	印

1項目ごとに2箇所
予定を記入しては押印、
実施しては押印

すべて
ダブルチェック

チェック項目（新旧比較）

旧チェックシート

- 1 終講日
- 2 科目名
- 3 作成依頼
- 4 試験問題受け取り
- 5 保管袋作成
- 6 試験問題確認
- 7 修正依頼
- 8 修正後の確認
- 9 印刷
- 10 試験終了
- 11 担当講師への採点依頼
- 12 採点済解答用紙受療
- 13 答案・成績表読み合わせ
- 14 入力依頼
- 15 成績表読み合わせ
- 16 学科長への報告
- 17 返却準備
- 18 返却日
- 19 再試験日決定
- 20 再試験掲示

その数
20項目！

新チェックシート

- 1 科目名
- 2 担当
- 3 試験日
- 4 作成依頼
- 5 試験受取
- 6 問題確認
- 7 印刷入力

7項目へ！

新チェックシート（全体図）

旧シートでは
A3用紙5枚
必要

科目名	担当	試験日	作成依頼	試験受取	問題印刷	印刷 入力	チェックリスト
教育学							
生物学							
心理学							
看護とコミュニケーション			岡本 外川 秋村 志保				
物理学と人間工学							
家族論							
人権概論Ⅰ			新井 新井 大谷由				
人権概論Ⅱ			田中 吉川				
人権概論Ⅲ			小池 注野				
人権概論Ⅳ			安達 岡口				
生化学							
微生物学							
病理学Ⅰ			井上 榎本				
総合医演習			坂本				
看護学概論							
看護技術論							
臨床看護概論							
共通Ⅰ							
共通Ⅱ							
共通Ⅲ							
共通Ⅳ							
共通Ⅴ							
共通Ⅵ							
共通Ⅶ							
共通Ⅷ							
地域と暮らし							

A4サイズに
前期試験科目（20科目）
すべて収まる

新チェックシート（1科目分）

1科目あたり押印 ① は
5項目のみ

科目名	担当	試験日	作成依頼	試験受取	問題確認	印刷 入力	チェックリスト
教育学	①		①	①	①	①	

【結果】

- ◎手続きが簡素化
- ◎追試験や再試験のイレギュラーな状況へも対応
- ◎適切な進捗管理

【考察】

旧チェックシート

ミスが生じたときに原因を考えずそのミスの
チェック項目が追加されてきた
→チェック項目だけが膨大に

新チェックシート

チェック項目と押印の内容を精査
→本来のチェックシートとしての機能を果たす

本来のチェックシートとしての機能を果たす『**単位認定試験進
捗管理チェックシート**』の作成につながった。

【結論】

〈有形効果〉

- ①試験準備の状況の把握に**必要な時間の短縮**が得られた。
- ②再試験、追試験の依頼の進捗状況を**把握しやすくなった**。
- ③1教科あたりの試験準備に要した時間は平均して**60～70%減**
(2週間かかっていたものが1週間で実施) となった。

〈無形効果〉

- ①学年リーダーに精神的余裕ができ、
試験準備に対する**ストレスを減らす**ことができた。
- ②試験準備の進捗状況をチーム全体で把握し、**協力して進める**ことができた。